



ゲームと脳

すでにお子様を通じて配付しました『平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取り組み』をご覧になられたでしょうか。

今回の児童への質問紙(アンケート)調査では、「平日のゲームをする時間」が長いということが分かり、このことについて非常に興味深い記事を新聞で読んだことがありましたので皆様にご紹介します。

— 今週の本棚 — 鹿島 茂 評

『脳内汚染』岡田尊司著(文藝春秋) ※毎日新聞より

書評のルール違反は覚悟の上で、本書が大ベストセラーになって一人でも多くの人に読まれることを強く願いたい。なぜなら本書は、日本が直面している社会現象、すなわち、キレやすい子ども、不登校、学級崩壊、引きこもり、家庭内暴力、突発性殺人、動物虐待、大人の幼児化、ロリコンなど反社会的変態性欲者の増大、オタク、ニートなどあらゆるネガティブな現象を作りだした犯人が誰であるかをかなりの精度で突き止めたと信じるからだ。

では、医療少年院勤務の精神科医という過酷な現実の最前線に立つ著者が、犯人と名指ししたのは誰なのか? 結論から先に言おう、コンピュータ・ゲームとインターネット(とりわけネット・ゲーム)である。…中略…

「攻撃を繰り返すためには、ボタンを押し続けなければならない。それは引き金を引く行為と同じである。(中略)破壊行為は、満足と報酬によってどんどん強化されることになる。暴力は、悪いどころか、『楽しみ』になっていく。(中略)子どもや未熟な大人が、こうした暴力シーンになじむことは、『悪い敵』を攻撃してもいいという考えを強化し、それは、とりまなおさず、思い通りにならない存在は攻撃すべしという態度や考え方を強めてしまうのである」

しかし、著者がむしろ強く危惧するのは、じつは、ゲームのこうした内容そのものではない。一番恐ろしいのは、ゲームをしていると脳内にドーパミンが大量に放出され、麻薬と同じような効果がもたらされることだ。つまり、やめたくてもやめられなくなるのだ。「毎日長時間にわたってゲームをすることは、麻薬や覚醒剤などの依存、ギャンブル依存と変わらない依存を生むのである」

とはいえ、ゲームが初歩的なとき、依存は深刻ではなかった。ところが、近年、ゲームが飛躍的に進化して、現実とほとんど変わらなくなると、危険が増大する。…中略… しかも、戦慄すべきことに、ゲーム漬けになった脳は薬物中毒の脳と同じように破壊され、元には戻らなくなるという。…中略…

また、長時間のゲーム耽溺で失われる時間の損失も深刻だ。家族や友人との接触の中で学習される人生経験がまったく積まれないことになるからだ。

「子どもの二度とない貴重な時間が、奪われていくのだ。(中略)だが、中毒状態になりかけの子どもは、もうそのことしか頭になく、いくら保護者が注意し言い聞かせても、自分で行動をコントロールすることは非常に困難なのである」…後略

長期休業中になると、特に増えるのがヘアカラーとスマホのゲームのテレビCM。子どもたちをターゲットにしているのは明白です。

私たちの身近にせまる危険は、気づいたときにはすでに手遅れというパターンもあります。とすると「たかがゲームやスマホで…」という考えは甘いのかもしれませんね。

裏面にも記事あり

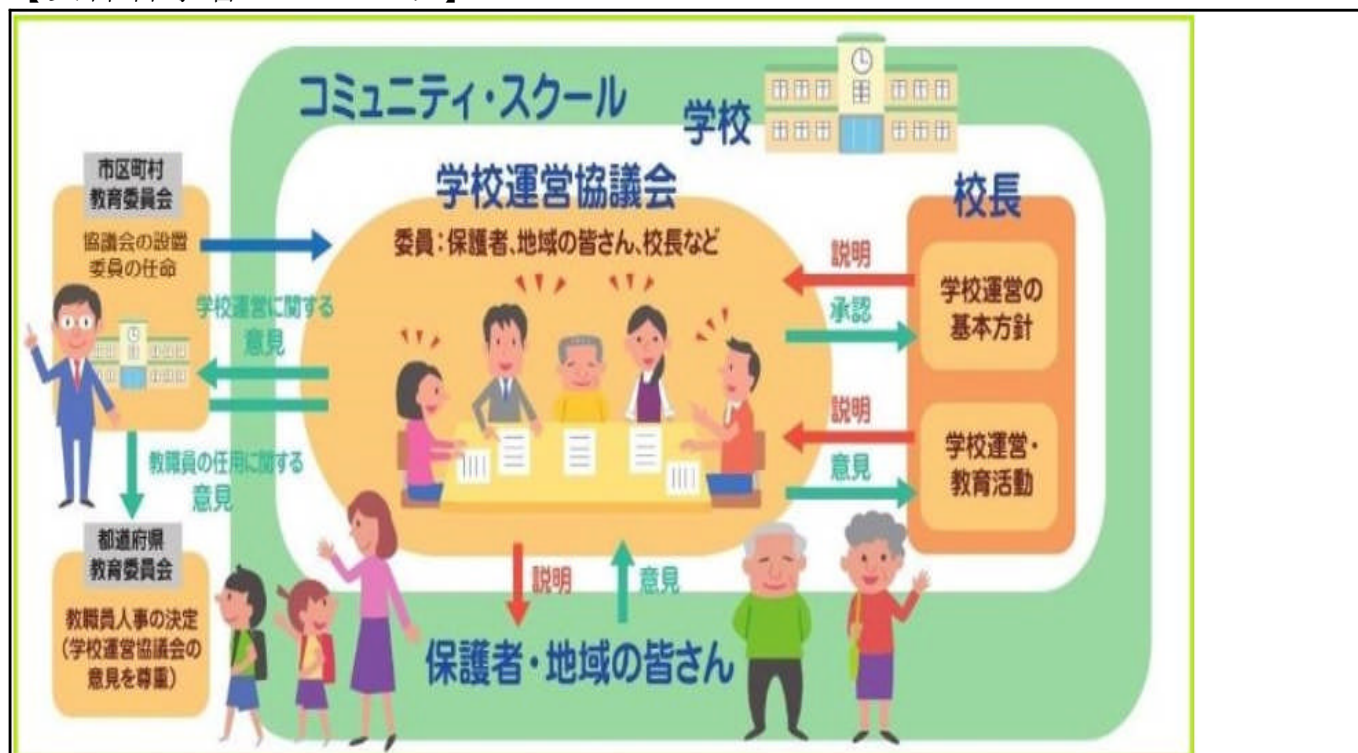
本校も来年から始めます

ー コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について ー

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、共に子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりといった取り組みが行われます。

【文部科学省のHPより】



コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組がおこなわれます。

学校運営協議会の主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見が述べることができる

の三つがあります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていくという当事者意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」を進めるための有効なツールです。

四箇郷小学校がこの制度を取り入れることで、今いっそうよりよい学校づくりを目指せば幸いです。